

精神看護学概論	2年・前期	1単位	教授 高橋ゆかり
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210822

1. 授業のねらい・概要

精神看護学の意義・目的および患者-看護師関係における相互作用の理解と、精神医療の歴史的背景を通し、精神看護における倫理的課題を理解する。

2. 到達目標

1. 精神看護の基本概念を理解できる。
2. 精神保健医療の歴史的背景を理解できる。
3. 精神看護における倫理および精神に健康問題をもつ対象の人権擁護について理解できる。
4. 対象者-看護師関係の相互作用の意義と看護援助について理解できる。

3. 授業の進め方

講義を中心に進める。

4. 授業計画（演習）

1. 精神障害の基本的なとらえ方
2. 精神科看護における対象の理解
3. 精神科看護におけるケアの方法①（コミュニケーション）
4. 精神科看護におけるケアの方法②（日常生活援助）
5. 対象者-看護師関係の理解
6. 精神医療と看護の歴史的変遷
7. 看護の倫理と人権擁護
8. まとめと試験

5. 成績評価の方法・基準

授業中の態度(10%)，定期試験(90%)を総合して評価する。再試験は実施しない。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 系統看護学講座 精神看護学 1 精神看護の基礎 医学書院
2) 系統看護学講座 精神看護学 2 精神看護の展開 医学書院

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

テキストの予習（30分程度）をしておくこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。